

第 1 回研究会からの 本県の主な動きについて

令和 2 年 6 月 1 0 日
山梨県

第1回研究会からの本県の主な動き

■ The JSSA ONLINE MeetUp Vol.28 キーノートセッション

- ✓ 一般社団法人日本スタートアップ支援協会が主催する「The JSSA ONLINE MeetUp Vol.28」において、長崎知事が新たな社会のビジョンについて議論

開催日時：5/28（木）16:00～17:00

テーマ：『ポストコロナ社会の新パラダイム』

出席者：東博暢氏（モデレーター）（㈱日本総研 プリンシパル）[やまなし自然首都圏構想研究会 座長]

田坂広志氏（多摩大学大学院 名誉教授）[やまなし自然首都圏構想研究会 顧問]

浜松市 市長 鈴木康友氏 / 加賀市 市長 宮元陸氏 / 山梨県 知事 長崎幸太郎

- ✓ 長崎知事からは、本県の取り組みとして、『やまなしグリーン・ゾーン構想』や本研究会の紹介を行うとともに、ポストコロナにおける地方の可能性、また地方自治体こそがスピード感をもって積極的に取り組みを進めていく必要性に言及
- ✓ 他首長からも同様に、「本当の地方創生がここから始まる」「大都市と地方の考え方が変わる」などの発言があった
- ✓ 田坂顧問からの提案を受け、今後、三自治体が連携してポストコロナの取り組みを進めていくことで方向性が一致

第1回研究会からの本県の主な動き

■ やまなしグリーン・ゾーン認証制度

✓ 次のとおり制度を具体化

1. 基本的な考え方

- 構想を踏まえ、「安心・信頼の提供」を実現する制度となるよう、できる限り速やかに、具体的な実務を確立し、運用を開始する。
- 感染症予防対策を講じる上での基準として、現在、本県が独自に策定した「感染拡大予防ガイドライン作成基準」を継承発展させる形で新たな基準を作成する予定。
→設備、建築、感染症及び消費者関連の専門家からなる委員会を組織し、ご意見をいただく（6/8開催）
- 当該基準に基づく感染症予防対策として、事業者がガイドラインを作成し、その内容を県が確認した上で、認証マークを交付する。
※ まずは、消費の落ち込みが激しい「宿泊・飲食」の業種を認証の対象とする。
- あわせて、利用者がそれらの取組を評価する仕組みや、認証マークにQRコードを組み込むことで事業者の取組内容を利用者が確認できるよう、検討。

2. 認証制度の運用とスケジュール（想定）

